

## 一般社団法人千葉市認知症介護指導者の会 第3期 第5回 定例理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年6月24日(金) 19時00分～21時00分
2. 開催場所 オンライン会議 (Zoom 使用) にて開催
3. 理事・監事の数 理事数 5名 監事数 1名
4. 出席者 [理事] 梅本聡 永嶋丈晴 高橋秀明 滝澤秀児 日向雅史
5. 議長 梅本聡 [会長]
6. 議事録作成者 梅本聡 [会長]
7. 議事

### 1. 活動報告・検討等

#### (1) 認知症×セミナー 幹事 (永嶋丈晴)

一 第3回 (2022年8月27日開催) の件について永嶋氏より以下の報告があった。

○令和4年6月10日付にて申請を行った「令和4年度千葉県介護人材確保対策事業補助金 (介護人材キャリアアップ研修支援事業)」について、6月17日付にて交付が決定した。

○セミナー要旨とプログラムが決定した (詳細は、別紙添付資料参照)。

○後援依頼の承諾いただいた団体は以下のとおり。

- ・千葉市老人福祉施設協議会
- ・千葉市社会福祉協議会
- ・特定非営利活動法人認知症ラボ
- ・特定非営利活動法人リンク

また、以下の団体等に後援依頼の申請を行っており、現在 (6/24時点) 回答待ち。

- ・千葉市
- ・千葉県社会福祉協議会

※備考：本理事会後 (6/27) に、どちらも後援許可をいただいた。

#### 二 オンライン配信について

オンライン配信を行うか出席者にて協議を行った。

結果、会場参加と Zoom による LIVE 配信を同時開催することとなった。

#### 三 広報について

- ・ポスターとチラシを作成。デザイン (滝澤理事が制作) はどちらも同じ内容を採用する。
- ・ポスターとチラシの送付先を幹事 (永嶋・石井) にて取りまとめ、レターパックにて郵送する。尚、送付先については、当会会員である千葉市指導者からも募る。
- ・当会公式 Twitter にて広報を行う (担当：梅本)。
- ・介護専門職の総合情報誌「おはよう 21 (中央法規出版)」の information に情報掲

載を依頼してみることとなった（担当：梅本）

(2) 支援専門職 SCHOOL 運営部会（高橋秀明・滝澤秀児・梅本聡）

一 高橋秀明氏より、支援専門職 SCHOOL の運営方法等の説明があった。

○令和4年6月4日（土）に第2回運営部会を開催。

その中で、利用プランならびに各セミナーの支払方法はオンライン決済（Stripe）とすることが決定した。また、その席にて Stripe への申込みや設定等の作業を実施した。

○利用プラン・各セミナーともにホームページの申込フォームと Stripe の支払リンクの設定が完了した。

○これに伴い、利用プランの案内、各セミナー（年間スケジュール）の案内をホームページ上で開始した。

○利用プランの案内、年間スケジュールの案内、3ヵ月スケジュール（R4年7月～9月）のチラシを作成した（デザインは滝澤理事が制作）。

今後、第3回認知症×セミナー（8/27開催）のポスター・チラシと一緒にこちらのチラシについても関係先等に送付を行う。

(3) 防災・減災等マニュアル策定部会（永嶋丈晴）

○令和4年6月8日（水）に、今期第1回目となる部会会議を開催した。

その席にて、6月26日（日）に策定作業を行うことが決定した。

# 認知症 と「抵抗・拒否というレッテル貼り」

**開催日時** 令和4年8月27日(土) 10:00～ 開場 9:30

**会場** 千葉市社会福祉研修センター

**ターゲット** すべての介護・福祉従事者、介護の仕事に興味のある方

## セミナー要旨

本セミナーでは、「介護職員(自分)に何も落ち度はないのに認知症の状態にある方に抵抗された・拒否された＝問題行動・迷惑行為」というレッテル貼りをやめるために必要な視点・知識・技術などの確認と理解を深めていきます。

また、抵抗・拒否から意図せず発生したアクシデント(怪我や所有物の破損など)に見舞われた職員を擁護するための職場環境を構築する上で、組織が備え、講じておくべきことを、介護福祉系の法律のプロであり、介護トラブルの専門家である弁護士を講師としてお招きし、セミナーを開催します。

## プログラム

10:00～10:05	開会	
10:05～11:05	<b>【講演1 抵抗・拒否への「視点と理解」】</b> 当たり前と認知症  自分の理解や納得がないまま、自分の身にかかることが起きれば抵抗するのは当たり前。しかも、認知症が原因で何をされているのかの理解が難しいとなれば尚更…。 抵抗・拒否への視点と認知症による要因を確認しましょう。	(一社)千葉市認知症介護指導者の会 会長 梅本 聡 [㈱キューシップ 代表・介護福祉士]
11:10～12:10	<b>【講演2 抵抗・拒否への「アセスメントと実践」】</b> 根拠と支援策  アセスメントによって抵抗・拒否の根拠を探り、根拠に対して的を得た支援策を講じることで、抵抗・拒否、暴力・暴言という意味表示にならないようにすることが支援のプロには求められているという理解を深めましょう。	(一社)千葉市認知症介護指導者の会 副会長 永嶋 丈晴 [特別養護老人ホーム裕和園 施設長]
12:10～13:10	昼食・休憩	
13:10～13:20	次回の「認知症×セミナー」のご案内	
13:20～14:20	<b>【講演3 抵抗・拒否への「誘発と技術」】</b> きっかけとコミュニケーション  介護者の言葉だけではなく、表情、視線、身振りなどが自立した日常生活につながるきっかけにも、抵抗・拒否、暴力・暴言などを誘発するきっかけにもなり得ることの理解を深めましょう。	(一社)千葉市認知症介護指導者の会 理事 高橋 秀明 [特別養護老人ホーム裕和園 副施設長]
14:25～15:45	特別講演 抵抗・拒否から意図せず発生したアクシデント 組織に求められる職員を擁護する職場環境づくり  利用者ご本人にとっては不当な扱いを受けたから抵抗の手段として腕力を振るっただけ。それは理解していても、職員が怪我を負う、所有物が壊されてしまうなどの可能性はゼロではありません。 思わぬアクシデントに見舞われた職員を守るために、組織が備え、講じておくべきことを利用契約書・重要事項説明書等の整備も含め、学びます。	介護・福祉系法律事務所おかげさま 代表弁護士 外岡 潤 氏
15:45～15:50	閉会	